

## 3年間を振り返って

早いもので学年通信も今回の第13号で最終号となってしまいました。この3年間、多くの先生方に冒頭文の執筆にご協力いただき、感謝いたします。そして学年通信担当の星先生、毎月の編集・発行、相馬高校ホームページへのアップ、お疲れ様でした。

学年通信のタイトル「Break Through ～夢に向かって～」への思いは令和2年4月8日発行の第1号で以下の内容で皆さんに伝えました。

新1学年の皆さん、相馬高校へのご入学おめでとうございます。しかし、今年度の入学式は新型コロナウイルス感染拡大により、保護者は出席できず、来賓の挨拶も書面で紹介される等、変更・短縮されました。残念で悔しいことですがどんな困難に直面しても、最終的に前に進まなければいけません。これから始まる高校生活、楽しいこともたくさんありますが、大きな壁にぶつかり、悩むこともでてきます。しかし、私たち教職員一同、全力で皆さんをサポートしていきます。そして皆さんが困難を乗り越え、自分の夢に向かって突き進んでくれることを期待します。そんな強い思いを込めて『Break Through ～夢に向かって～』を学年通信のタイトルにしました。

この3年間を振り返ってみて、皆さんは何を思うでしょうか。コロナ禍にあり、何をするにしても順風満帆にはいかなかったことの方が多かったはずですが、皆さんは何ともしようとものがきしみながらも必死になって様々なことに取り組み、その過程で着実に成長しました。特に校内球技大会、校内文化祭は皆さんが中心となって頑張り、成功に導いてくれましたね。更に部活動の各種大会では、目覚ましい活躍で相馬高校に活気を与えてくれました。担任・副担任一同、皆さんの頑張り活躍を誇りに思います。

高校の最終目標は進路実現になります。令和2年4月1日の第1回学年会で担任・副担任の先生方へ以下の方針を伝えました。

目指す学年像…『多くの先生方から協力・サポートが得られる学年にする』

### 相双地区の教育力向上における相馬高校の役割について

- ①相双地区から国公立大学80名の合格者を輩出し、将来、復興のリーダーとして活躍する人材の育成をする責任がある。(相馬高校から30名以上)
- ②原町高校、相馬東高校(現相馬総合高校)、新地高校、ふたば未来学園を経験した先生方のノウハウを積極的に取り入れた教育を実践する。
- ③明確な進路目標が教員間で共有されていれば、手法は違って成果はでる。指導は各先生方の方針を尊重する。
- ④多くの先生方の協力を頂き、生徒が目指す進路を実現させる。

目指す学年像のとおり、皆さんは多くの先生方から進路指導をして頂きました。頑張っている人を見れば誰しも手を差し伸べたくなるものです。振り返れば、保護者がいない状況での入学式、入学直後の休校、学校再開と同時に文理選択、本当に無茶苦茶な環境で皆さんの高校生活は始まりました。皆さんと同様、先生方もものがきしみました。しかし、掲げた目標を見失うことなく、最後まで取り組むことができました。それは必死になって頑張っている皆さんがいたからにほかなりません。

さあ、いよいよ卒業ですね。これからも多くの困難に直面すると思います。皆さんに望むのは1つだけです。

## 「Break Through～夢に向かって～」

# 担任から愛を込めて

## 1組 星 充子

思えば、皆さんがこの世に生まれた年、私は教員としてスタートを切りました。そう考えると、なんだかとても感慨深い、担任を持つことができ本当に嬉しかったです。楽しい3年間をありがとう。

大震災の混乱の中ランドセルを背負って、中学校では台風の水害で散々な目に遭って、目に見えないウイルスに翻弄された高校生活を送って…本当に激動の12年間を過ごしましたね。災害だけでなく、世の中は本当にめまぐるしく変化しています。これからも予測困難な出来事は続いていくでしょう。ぼんやりふわふわと流されているのはダメです。親からも精神的に自立して、しっかりと自分の根をおろして、事実を冷静に見つめられる人になってください。その上で築かれる人間関係が、本当の「絆」になるはず。これから生きていく君たちをずっとずっと応援しています。卒業おめでとう。

## 2組 鵜川 さくら

卒業おめでとう!「ついにこの日が来たか」と、晴れやかさと寂しさがなймаぜになった気持ちです。1月最後の登校日の日誌に「みんな和気あいあいとしていてこの空間がいつまでも続けばいいのになあと少し寂しい気持ちになりました」と書いてあって、もう、言葉にできません。これからいろんなことが起きると思います。みんななら、たくさんの方が助けになってくれます。ただ、周りが何をしようと、何かを決めるのも、何かをやるのも、最後は自分自身です。その時に一番頼れるのは自分自身であってほしいと思っています。そのために、時にはきつい経験をして自分を強くしてください。意味があるからやるのではなく、何事にも挑戦して、自分で意味を見出してください。ただ一度の人生、全力で挑戦して、本気で泣いて、笑って、目一杯楽しまなきゃ損です。何事も挑戦、迷ったらやる、諦めない、できるまでやる。これを忘れないでください。ずっと応援しています。

## 3組 伏見 裕樹

望みの糸は切れても 救いの糸は切れない  
泣き慣れた者は強かろう 敗者復活戦  
あざ嗤え英雄よ 嗤うな傷あるものよ  
傷から芽を出せ 倒木の復活戦  
「倒木の敗者復活戦」中島みゆき

数学科教員室の前の黒板に書いたこの歌詞は、東北を倒木になぞらえて、中島みゆきが震災後の東北を思っで作ったとか作ってないとか。はっきりしないのが中島みゆきらしいですね。

私の座右の銘は「七転び八起き。でもできれば転ばない方がいい」です。失敗しないように十分準備をする。ただ、失敗してもあきらめない。まさに「傷から芽を出せ!!」です。困難は多いからね。でも、頑張っていれば協力者も理解者も出てくるから。

君たちの未来に幸あれ!!

## 4組 西山 博文

「自分らしさ」と「謙虚さ」

頑固な人、他人の意見に流されやすい人等、実に様々なタイプの人があります。しかし、共通しているのは、これからの長い人生において、「自分らしさ」と「謙虚さ」のバランスが非常に大切になることです。進学先の先生方にお世話になるにあたっては、謙虚さが必要になり、社会人になれば、自分の考えをしっかりと会社に主張する「自分らしさ」が求められます。

人は成功や失敗も含め多くの経験をする中で、「わがまま」や「傲慢さ」がなくなってきました。教えられて身につくものではありません。4月からはコロナ対策も緩和されます。皆さん、これまで経験したこともない魅力的な世界に積極的に飛び込んでください。その世界をとおして「謙虚さ」は自然に身につく、それが自身の成長につながり、本当の「自分らしさ」を発見できるはず。です。



☆卒業式後の登校について☆

入試業務があるため、以下の日は敷地内立ち入り禁止となりますのでご注意ください。

2日(木)午後、3日(金)～7日(水)、14日(火)午後～15日(水)

また、以下は追検査や後期選抜があった場合立ち入り禁止となります。

9日(木)、23日(木)～24日(金)、28日(火)～29日(水)

☆各種証明書について☆

3月中であれば無料で発行できますが4月以降は有料となります。必要な人は早めに相談してください。

☆離任式について☆

3月30日(木) 9:10～10:10 第一体育館